

ブレードホース 施工要領書

ZH-20 加圧送水装置用可撓管継手・消防庁告示第31号型式認定品

ゼンシン 株式会社

施工手順

1. 作業前の確認

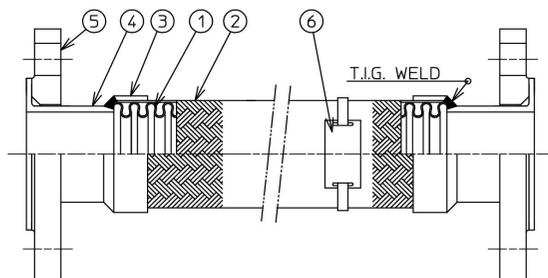


表1 部品表

品番	部品名	材質
1	ヘローズ	SUS316L
2	ブレード	SUS304
3	ブレード押え	SUS304
4	ルーズフランジ	SS400
5	ラップジョイント	SUS304
6	表示板	A1100P

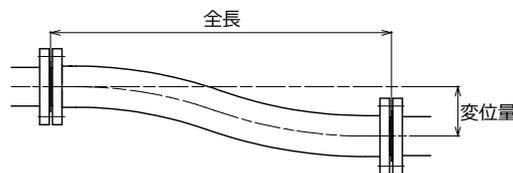
※口径によって形状が異なります。

施工前に次の事項についてご確認下さい。

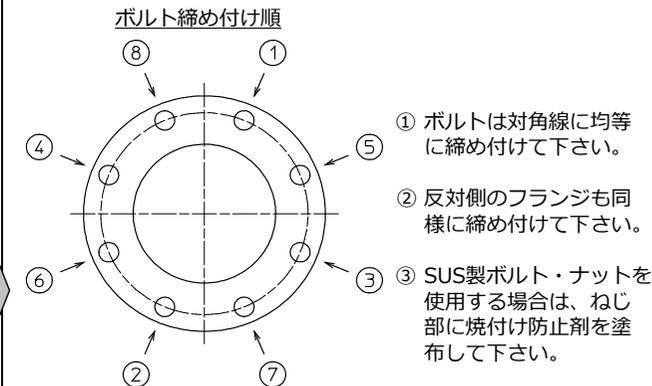
- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか

2. 配管への取り付け

- ① ガasketをシール面からずらさないように、また、シール面を傷つけないよう製品を配管フランジ間にセットして下さい。
※全面gasketを推奨します。
- ② 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。
- ③ 実際の配管変位が許容変位量内であることを確認して下さい。

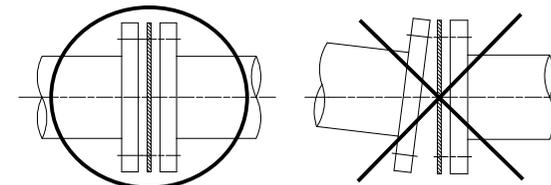


3. ボルトの締め付け



- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。

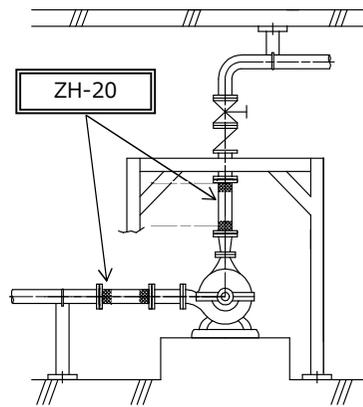


取付ボルト長さ

口径	取付ボルト長さ
32A~40A	M16×65mm
50A~65A	M16×70mm
80A	M20×80mm
100A	M20×85mm
125A	M22×90mm
150A	M22×95mm
200A	M22×100mm

JIS20KF・平座金、ばね座金なしの場合

設置例



⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。その様な場合は適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ボルトの締付の際には、片締め・締め込み過ぎにならない様に施工願います。